# 第34期営業の中間ご報告

（平成12年4月1日～平成12年9月30日）

証券コード 6869



シスメックス株式会社

TOP INTERVIEW

# 第34期上半期の業績と事業活動についてご報告いたします。

## 第34期上半期業績のご報告

**— 第34期上半期の業績についてお聞かせください。**

国内および先進国を中心とする海外では、医療費抑制の影響を受け、引き続き厳しい環境が続いています。こうした状況のなかで、当社はアライアンスによる品揃えの充実を図り、国内および海外の販売・サービス体制の強化に努めました。その結果、国内では検体検査分野が順調に伸びました。しかし、Y2K問題に関連した特需の反動を受け、IT分野では目標を下回りました。

一方、海外ではアメリカと中国で期待したほどの成果には至りませんでしたが、欧州は順調に推移しました。円高ユーロ安の影響により、結果的に当上半期の連結業績は売上高18,579百万円、経常利益1,297百万円、当期純利益547百万円となりました。

**— 国内市場においてはどのような事業を展開されましたか。**

国内では血球計数や血液凝固検査の分野が順調であり、加えてロシュ社の尿製品の販売やオムロン社の血液像検査システム事業の譲受けなどにより品揃えの充実を図りました。現在、病院では検査の効率化が求められており、それに対応し当社はITを活用したトータルソリューションビジネスを展開しています。また、POCT（必要なときに患者のすぐそばで行う検査）市場の拡大にも努めています。さらに、市場探索型ビジネスである当社のコア技術を活用した科学計測分野も順調に売上を伸ばしています。



**— 次に海外市場についてお伺いします。まず、欧州と北米の状況から聞かせてください。**

欧州ではユーロ安の影響にもかかわらず、売上は順調に推移しました。市場競争力のある新製品「XE-2100」の導入などにより機器の設置台数が増加し、これに伴い試薬販売量も増えています。血球計数分野における欧州での当社のシェアはトップレベルとなりました。また、シスメックス・モリス社の開発体制を強化したり、ニュージーランドのデルフィック社のソフトウェア製品の取扱いを開始するなど、IT分野にも注力しています。

北米に関しては、ロシュ社への販売・サービス業務の移管の過渡期ということもあり、大きな業績の伸びとはなりませんでした。今後は、ロシュ社へのサポー

ト体制を強化し、またシスメックス・モリス社のソフトウェア製品を北米市場に導入するなど、IT分野の強化に努めます。さらに、中南米市場を統括するため、米国販売子会社のマイアミオフィスを設立し、市場の開拓を一層進めていきます。

**— さらなる成長が期待されるアジアの状況はいかがですか。**

まず中国ですが、従来は現地の代理店による販売を行ってきましたが、市場が拡大してきたこと、ユーザーのニーズが高度化・多様化してきたことにより、上海と香港に販売・サービス拠点を設立し、今年3月から直接販売体制に切り替えました。この過程において、新体制への移行に遅れが生じ、上半期は売上が低迷しましたが、現在は順調に推移しつつあります。また、今年9月にはITの拠点となるソフトウェア開発子会社の希森美康電脳技術（上海）有限公司を設立するなど、事業を拡大しております。

ASEAN（東南アジア諸国連合）においても、ここ数年、積極的に拠点の整備を進めており、10月にはシンガポールで試薬の生産を開始しました。さらに、品揃えの一層の充実を図るなど、アジアでNo.1の総合サプライヤーを目指します。

## 新たなる研究テーマへの取り組み

**— 4月にオープンした中央研究所の活動についてお聞かせください。**

私どもは常に新しいテクノロジーの開発に取り組んでいますが、この研究所では新たにポストゲノムを研究テーマにしています。重篤な疾患を初期段階で発見するための研究を、国内外の大学と共同で進めるとともに、著名な先生方によるアドバイザリーボードを設置しています。



**— ミレニアムプロジェクトへの参画が内定したとお聞きしました。**

政府は、新しいミレニアム（千年紀）の始まりに当たり、さまざまな分野で新しい産業を生み出す技術革新に取り組む「ミレニアム・プロジェクト」を推進しています。当社も、高齢化社会に適応し、それぞれの人の特徴に応じた革新的医療の実現を目指し、細胞ゲノム解析（細胞内における遺伝子の機能を細胞レベルで解析）を行うプロジェクトに参画することが内定しました。未来の豊かな健康社会づくりに向けて、積極的に研究開発に取り組んでいきます。

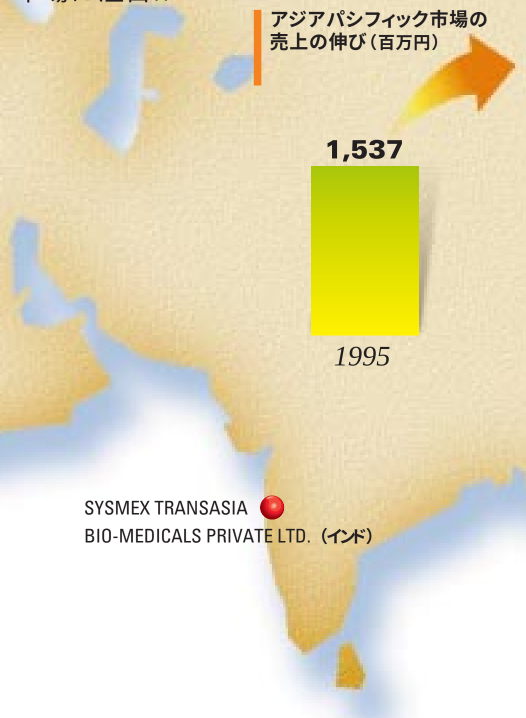
● ● ●

当社は今後ともグローバルにビジネスを展開し、株主の皆さまや投資家の方々のご期待にお応えできるよう努力を重ねてまいります。今後もより一層のご支援をよろしくお願いいたします。

取締役社長　家次　恒

Sysmex NOW シスメックスナウ

成長著しいアジア市場に注目!!




# 成長を続けるアジア市場で、検体検査分野におけるNo.1の総合サプライヤーを目指す。

　ここ数年、経済成長がめざましいアジアマーケット。世界人口の約6割を占めるこの地域では、医療環境の整備が進展するとともに、検査に関する需要はますます拡大すると予測されます。このアジアを21世紀における重要市場と位置づける当社は、生産、販売、開発拠点の整備を積極的に進め、着実に事業展開を行ってきました。今回は、アジア市場に対する取り組みと今後の展望についてご説明させていただきます。

## 21世紀、成長が期待されるアジア地域。

　1999年以降、経済回復に転じたアジア地域は、医療分野においても急速な市場拡大が期待されています。人々の健康への関心も高まる中、検査ニーズも増加する傾向にあります。また、ITの発展にともない、他の医療先進国との格差はまたたく間に縮まると見られ、21世紀の幕開けと同時に、最も有望視できるマーケットです。

## アジア市場における積極的な拠点整備を展開。

### 生産拠点の整備

　アジア地域での生産拠点の整備は、1995年中国山東省済南市に設立した試薬工場にはじまります。以来、'98年にはインドに機器と試薬の生産工場を設立。本年10月にはシンガポールで試薬工場が稼働しました。いずれもその地域のニーズに応じた製品を迅速に、安定して供給できる体制を整えています。

### 販売・サポート拠点の整備

　現在、アジア地域では、シンガポール、インド、マレーシア、タイ、台湾、中国（上海・香港）に販売・サービスの拠点を設置。本年、4月にはフィリピンとベトナムに駐在員事務所を開設しました。各国のニーズに応じたマーケティング活動を展開し各地域へのきめ細かい対応の結果、ここ5年で売上は約1.8倍となっています。

### 開発拠点の整備

　本年9月、市場成長が著しい中国に、ITの拠点と




なるソフトウェア開発子会社を設立しました。今後、急速な進展が予想される中国市場の臨床検査室における情報化に対応した、ソフトウェア製品の開発に取り組んでいます。

20世紀終盤を迎え、アジア市場における一連の拠点整備もほぼ完了。新世紀においては、これらの事業基盤の強化が実り、大幅な売上増が期待されます。

## ◇大きな発展の可能性を秘めた中国市場。

人口約12億人という巨大マーケットを抱え、経済成長が進む中国。当社がアジア市場の中でも最も重要視しているのがこの中国市場です。単に製品を販売するだけでなく、中国語に対応した製品を開発し、現地の医療環境やニーズに応じた仕様の製品を供給しています。



シスメックス血液学セミナー（中国）

また、以前から中国における臨床検査学の発展に寄与するため「血液学セミナー」を開催するなど、学術面からのサポートも展開してきました。本年は上海、香港に販売会社、上海にITの開発拠点を設立。今後は分公司（支店）の設置により、サービス・サポート網の充実を目指します。

## ◇アジアNo.1の総合サプライヤーを目指して…。

検体検査分野の世界トップ10企業のうち、アジアに本拠地を置く企業は当社だけです。この好立地条件を活かして、21世紀に大きな成長が期待できるアジア市場で、検体検査分野No.1の総合サプライヤーを目指します。そのためには、現地のカルチャーやニーズを踏まえた的確で迅速なサービス活動、ローカルアライアンスによる品揃えの充実などが必要となります。各国に設立した事業拠点を核として、積極的な事業活動を展開するシスメックスのアジア戦略にご期待ください。

Sysmex

# トピックス Topics

## 中央研究所が「第13回日経ニューオフィス賞通商産業大臣賞」を受賞。

当社の中央研究所が「第13回日経ニューオフィス賞」の最高の賞である「ニューオフィス推進賞通商産業大臣賞」を受賞しました。この賞は日本経済新聞社、ニューオフィス推進協議会が共催し、通商産業省の後援により、21世紀に向けて範となる快適で機能的なオフィスを全国から選定し、表彰するというものです。中央研究所の中心部に配置された吹き抜けのアトリウムが明るい開放感を創出し、植物が発する微弱電流を音に変換する音響芸術の採用により潤いのあるオフィスになっていること、また、無線LANによりワークスペースを自由に選択できることなどが評価されました。



中央研究所

## ストックオプション（新株引受権）制度を導入。

業績向上に向けて、取締役および従業員の意欲や士気をより一層高めることを目的とする、新株引受権方式のストックオプション制度（商法280条ノ19に規定するストックオプションの付与）について、6月29日開催の第33回定時株主総会でご承認いただき導入しました。対象となるのは取締役11名、従業員173名です。新株引受権の行使価額、発行株式数などは以下の通りです。

| | |
|---|---|
| 新株引受権の条件（行使価額） | 1株につき　3,512円 |
| 発行株式数 | 460,000株 |
| 発行価額の総額 | 1,615,520,000円 |

## マルバーン社との代理店契約を締結し、欧米市場への粒子計測装置の導入を開始。

2000年6月15日、マルバーン社（イギリス）と欧州および北米、中東、アフリカ市場における、当社粒子計測装置の販売並びにアフターサービスに関する代理店契約を締結しました。'98年に結ばれた代理店契約により、これまでも欧州主要7カ国で当社製品を販売してきました。



シースフロー電気抵抗式粒度分布測定装置 SD-2000

今回のマルバーン社との契約により、欧州における販売テリトリーを16カ国に拡大、加えて、北米、中東、アフリカ市場に進出し、国内で高い評価を得ている＜SD-2000＞をはじめとする当社製品を広範囲に販売していきます。その他の新製品も導入を予定しており、今後粒子計測分野でのさらなる発展が期待されます。

## 台湾市場の事業拡大に向けて、「SYSMEX SAN TUNG」を設立。

アジアの重要市場のひとつである台湾に、現地代理店との合弁会社「SYSMEX SAN TUNG CO.,LTD.」（シスメックス三東）を設立し、7月1日より業務を開始しました。これまでは現地の三東社を販売代理店とし、血球計数分野で65％のシェアを獲得してきました。今後は、三東社との合弁会社設立により、IT製品の市場導入、粒子計測分野への参入、当社製品以外の品揃えの充実などにより、台湾においてさらなる事業の拡大を目指します。

## 市場成長が著しい中国に、ソフトウェア開発拠点を設立。

急速に成長する中国市場に、現地ニーズに適合したソフトウェア製品をタイムリーに開発し、迅速なサポートを実現するため、上海市にソフトウェア開発子会社「希森美康電脳技術（上海）有限公司」を設立。9月1日より業務を開始しました。当初は当社の主力である血液分析装置用の検査情報処理ソフトウェアを開発。さらに、臨床検査室の情報システム化に対応したソフトウェア製品も手がける予定です。また、取扱説明書やマニュアル類なども中国語仕様にするなど、より充実した顧客サービスにより差別化を図っていきます。日本、アメリカ、ベルギーに続くソフトウェアの開発拠点として期待されます。


希森美康電脳技術（上海）有限公司

## シンガポールに試薬の生産工場を設立。

アジア地域を重点市場と位置づけている当社は、試薬の消費地の近くで生産体制を整えるためシンガポールに試薬工場を設立し、10月下旬から生産を開始しました。今後、著しい市場拡大が期待できるアジア市場に対して安定した試薬の供給を行っていきます。また、シスメックス・シンガポールのオフィスを移転し、サービスラボやユーザー研修室なども併設し統括拠点としての機能を拡充。さらに、フィリピンとベトナムに駐在員事務所を開設するなど、東南・南アジアの事業基盤強化を積極的に推進しています。


SYSMEX SINGAPORE PTE LTD.

## シスメックスソング「To the Future～Futuristic Pulse～」のCDを発売し、販売収益の一部を日本ユニセフ協会へ寄付。

**未来に向けて一層の飛躍を目指し、躍進するシスメックス**グループの姿勢と思いを表現したシスメックスソング「To the Future」。全世界で業務に携わるグループの従業員とその家族から歌詞と楽曲を募集しました。その応募作品の中から「いのちの数だけ笑顔にあふれていてほしい」というフレーズが注目を集め、その作品にプロの作詞家、作曲家がアレンジを加え完成しました。日本語、英語、ドイツ語による3バージョンを作成。日本語版は長年にわたり幅広い音楽活動を行っている夫婦デュオ「ダ・カーポ」が、英語版はディズニーアニメ「美女と野獣」の主題歌でセリーヌ・ディオンとデュエットしグラミー賞を受賞した「ピーボ・ブライソン」が、ドイツ語版はオペラ歌手「ドミノ・ブルー」とそれぞれ実力派の歌手たちが素晴らしい歌唱力で歌い上げています。このCDをより多くの方々に聴いていただき、思いを共有するために10月1日に発売しました。その収益金の一部を世界の子どもたちのため、財団法人日本ユニセフ協会へ寄付いたします。



# NEW PRODUCTS
## 新製品情報

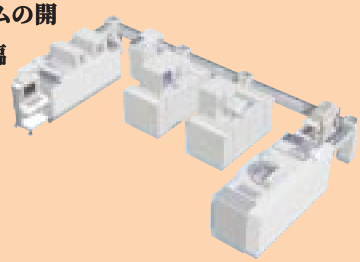
### ネットワーク機能を搭載した、血液検査システム「XE-AlphaN」。

分析装置の高機能化や検査室の情報ネットワーク環境の整備などに対応する、次世代に向けた血液検査システム「HSトランスポーテーションシステム　XE-AlphaN」。当社の分析装置を新設計の搬送ユニットで接続し、各種血液検査から標本作製、染色までの高速完全自動化を実現しました。外観は曲面を活かしたスタイリッシュなデザインであり、コンパクトなフォルムに仕上がっています。Alphaシリーズは現在、全世界で446セット（2000年9月30日現在）納入されており、このタイプの血液検査システムとしては世界No.1のシェアを誇っています。
（2000年9月1日発売）

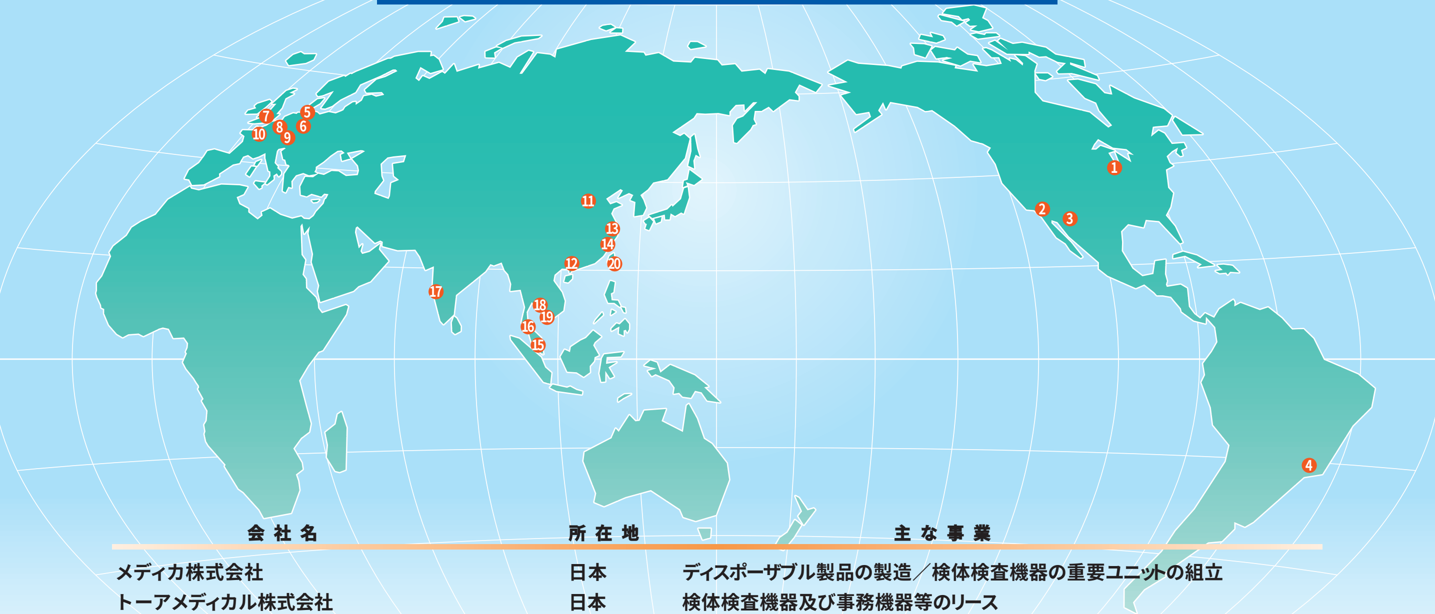


### 簡単な操作で、スピーディな検査結果が得られる「迅速検査システム」を日立製作所と共同開発。

血液検査、凝固検査、生化学検査が一度に簡単に処理でき、結果を素早く報告できる「迅速検査システム」。このシステムは血液検査システムのリーディングカンパニーである当社と、生化学検査システムのトップ企業である日立製作所が互いの特長を活かし共同で開発しました。検体投入口に検体をセットしスタートボタンを押すだけの簡単操作で、投入から報告まで最短20分を実現。人手が少なくなる夜間や休日、また緊急検査室での迅速な対応が可能となります。今後も迅速検査システムの開発、販売を通じて、臨床検査のさらなる発展に寄与していきたいと考えています。



# 連結子会社および関連会社




| 会社名 | 所在地 | 主な事業 |
|---|---|---|
| メディカ株式会社 | 日本 | ディスポーザブル製品の製造／検体検査機器の重要ユニットの組立 |
| トーアメディカル株式会社 | 日本 | 検体検査機器及び事務機器等のリース |
| シスメックス物流株式会社 | 日本 | 検体検査機器、検体検査試薬の保管、荷造梱包及び発送 |
| 株式会社アール・エー・システムズ* | 日本 | 産業用計測・検査装置の開発、製造及び販売 |
| ① SYSMEX CORPORATION OF AMERICA | 米国 | 検体検査機器、検体検査試薬の販売及び代理店サポート |
| ② SYSMEX REAGENTS AMERICA, INC. | 米国 | 検体検査試薬の製造及び販売 |
| ③ SYSMEX INFOSYSTEMS AMERICA, INC. | 米国 | 臨床検査情報システム用ソフトウェアの開発及び販売 |
| ④ SYSMEX DO BRASIL INDUSTRIA E COMERCIO LTDA. | ブラジル | 検体検査試薬の製造及び販売 |
| ⑤ SYSMEX EUROPE GMBH | ドイツ | 検体検査機器の販売及び代理店サポート／検体検査試薬の製造及び販売 |
| ⑥ SYSMEX DEUTSCHLAND GMBH | ドイツ | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |
| ⑦ SYSMEX UK LIMITED | 英国 | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |
| ⑧ SYSMEX BELGIUM S.A. | ベルギー | SYSMEX MOLIS S.A.の持株会社 |
| ⑨ SYSMEX MOLIS S.A. | ベルギー | 臨床検査情報システム用ソフトウェアの開発及び販売 |
| ⑩ SYSMEX FRANCE S.A.R.L. | フランス | 臨床検査情報システム用ソフトウェアの販売／検体検査機器、検体検査試薬の代理店サポート |
| ⑪ 済南希森美康医用電子有限公司 | 中国 | 検体検査試薬の製造及び販売 |
| ⑫ 希森美康香港有限公司 | 中国 | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |
| ⑬ 希森美康医用電子（上海）有限公司 | 中国 | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |
| ⑭ 希森美康電脳技術（上海）有限公司 | 中国 | 臨床検査情報システム用ソフトウェアの開発及び販売 |
| ⑮ SYSMEX SINGAPORE PTE LTD. | シンガポール | 検体検査機器、検体検査試薬の販売及び代理店サポート |
| ⑯ SYSMEX (MALAYSIA) SDN BHD | マレーシア | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |
| ⑰ SYSMEX TRANSASIA BIO-MEDICALS PRIVATE LTD. | インド | 検体検査機器、検体検査試薬の製造及び販売 |
| ⑱ SYSMEX (THAILAND) CO., LTD. | タイ | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |
| ⑲ MED-ONE CO., LTD.* | タイ | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |
| ⑳ SYSMEX SAN TUNG CO., LTD. | 台湾 | 検体検査機器、検体検査試薬の販売 |

*持分法適用会社

平成12年9月30日現在

## 損益計算書

（単位:百万円）

| 科目 | 当中間期 平成12年4月1日から平成12年9月30日まで | | 前中間期 平成11年4月1日から平成11年9月30日まで | |
|---|---|---|---|---|
| | 連結 | 単独 | 連結 | 単独 |
| 売上高 | 18,579 | 16,293 | — | 15,102 |
| 売上原価 | 7,549 | 7,344 | — | 6,762 |
| 売上総利益 | 11,030 | 8,948 | — | 8,340 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,371 | 7,333 | — | 6,937 |
| 営業利益 | 1,659 | 1,615 | — | 1,402 |
| 営業外収益 | 180 | 254 | — | 402 |
| 営業外費用 | 542 | 475 | — | 256 |
| 経常利益 | 1,297 | 1,394 | — | 1,548 |
| 特別利益 | 37 | 61 | — | 23 |
| 特別損失 | 160 | 167 | — | 14 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 1,173 | 1,288 | — | 1,557 |
| 法人税・住民税及び事業税 | 968 | 813 | — | 771 |
| 法人税等調整額 | △344 | △208 | — | — |
| 少数株主利益(控除) | 2 | — | — | — |
| 中間(当期)純利益 | 547 | 683 | — | 786 |
| 前期繰越利益 | — | 707 | — | 586 |
| 過年度税効果調整額 | — | — | — | — |
| 税効果会計適用に伴う特別償却準備金取崩高 | — | — | — | — |
| 中間配当額 | — | — | — | — |
| 利益準備金積立額 | — | — | — | — |
| 中間(当期)未処分利益 | — | 1,391 | — | 1,373 |

### ■総資産及び資本（連結）

中間連結財務諸表規則改正により、前期まで“資産の部”に計上しておりました「為替換算調整勘定」を当中間期より“資本の部”に含めて計上することになりました。その影響等により、総資産及び資本がそれぞれ744百万円、203百万円減少しております。

### ■売上（連結）

国内売上は、主力の血液検査用製品、並びに尿検査用製品、免疫血清検査用製品の売上が好調に推移し、売上高9,059百万円となりました。一方、海外売上は、欧州において「多項目自動血球分析装置XE-2100」をはじめとした血液検査用機器の販売数量が大幅に伸びましたが、円高（対米ドル約10%、対ユーロ約20%）による円換算売上高の目減りの影響により、売上高は9,520百万円となりました。その結果、連結売上高は18,579百万円となりました。

### ■売上（単独）

円高の影響がありましたが、国内販売が好調に推移した結果、売上高は16,293百万円（前期比7.9%増）となりました。

国内:9,076百万円
（前期比10.4%増）
海外:7,217百万円
（前期比4.9%増）

### ■経常利益（連結・単独）

原価の低減並びに販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、円高による為替差損の影響などにより、連結経常利益1,297百万円、単独経常利益1,394百万円（前期比10.0%減）となりました。

## 貸借対照表（連結）

（単位:百万円）

| 科　目 | 当中間期<br>平成12年9月30日現在 | 前　期<br>平成12年3月31日現在 |
|---|---|---|
| **資産の部** | | |
| 流動資産 | 31,247 | 31,871 |
| 固定資産 | 17,915 | 17,551 |
| 繰延資産 | 59 | 79 |
| 為替換算調整勘定 | — | 463 |
| **資産合計** | 49,222 | 49,966 |
| **負債の部** | | |
| 流動負債 | 9,432 | 10,122 |
| 固定負債 | 6,305 | 6,164 |
| **負債合計** | 15,738 | 16,286 |
| **少数株主持分** | 91 | 84 |
| **資本の部** | | |
| 資本金 | 3,384 | 3,384 |
| 資本準備金 | 5,560 | 5,560 |
| 連結剰余金 | 24,873 | 24,650 |
| その他有価証券評価差額金 | △34 | — |
| 為替換算調整勘定 | △392 | — |
| **資本合計** | 33,392 | 33,595 |
| **負債・少数株主持分・資本合計** | 49,222 | 49,966 |

## 貸借対照表（単独）

（単位:百万円）

| 科　目 | 当中間期<br>平成12年9月30日現在 | 前　期<br>平成12年3月31日現在 |
|---|---|---|
| **資産の部** | | |
| 流動資産 | 27,391 | 27,098 |
| 固定資産 | 20,432 | 20,728 |
| 繰延資産 | 59 | 79 |
| **資産合計** | 47,884 | 47,906 |
| **負債の部** | | |
| 流動負債 | 7,253 | 7,701 |
| 固定負債 | 5,875 | 5,776 |
| **負債合計** | 13,129 | 13,477 |
| **資本の部** | | |
| 資本金 | 3,384 | 3,384 |
| 法定準備金 | 5,897 | 5,864 |
| 剰余金 | 25,506 | 25,179 |
| その他有価証券評価差額金 | △34 | — |
| **資本合計** | 34,754 | 34,429 |
| **負債及び資本合計** | 47,884 | 47,906 |

## キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位:百万円）

| 科　目 | 当中間期<br>平成12年4月1日から<br>平成12年9月30日まで | 前　期<br>平成11年4月1日から<br>平成12年3月31日まで |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △526 | 5,657 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,722 | △3,659 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △79 | 4,008 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2 | △187 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | △2,325 | 5,818 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,901 | 4,083 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 7,575 | 9,901 |

### ■キャッシュ・フロー計算書（連結）

税金等調整前中間純利益が1,173百万円となりましたが、売上債権の増加並びに棚卸資産の増加に加え、有形固定資産の取得に伴う支出により、現金及び現金同等物は前期末に比べ2,325百万円減少しました。

# 株式の状況

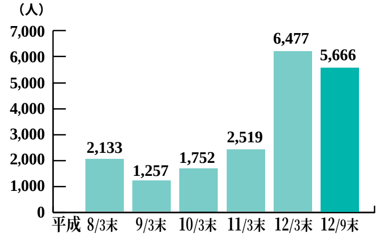
## ■会社が発行する株式の総数

74,836,000株

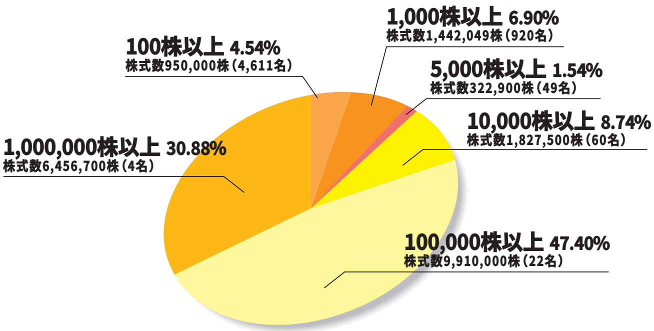
## ■発行済株式総数

20,909,200株

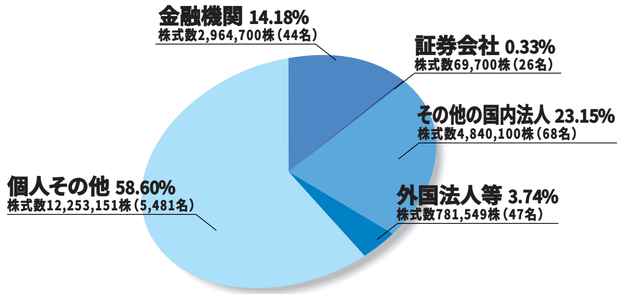
## ■株主数の推移



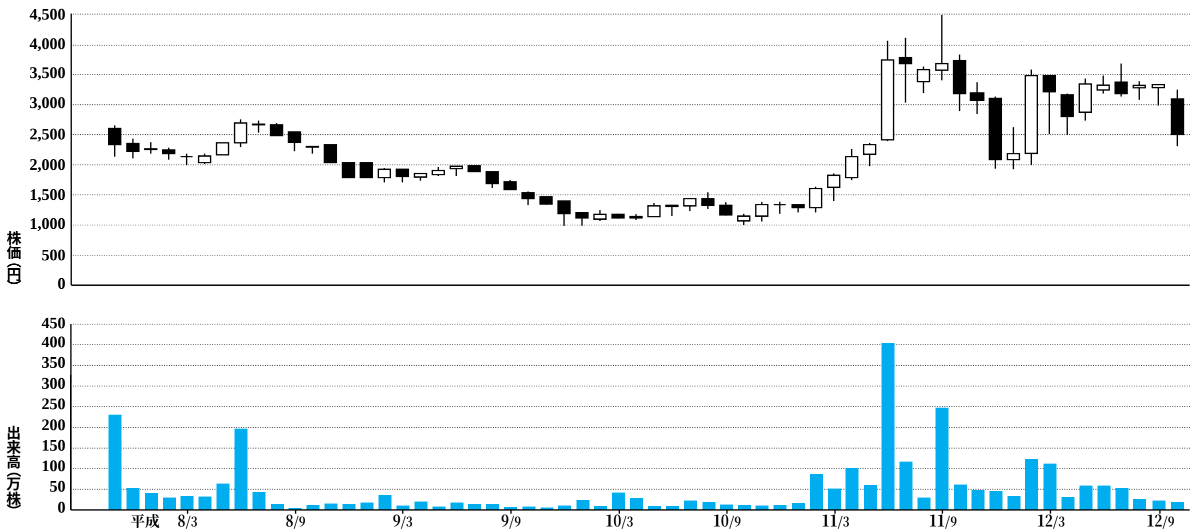

## ■所有数別分布状況




## ■所有者別分布状況




## ■株価・出来高の推移






※平成8/7までは大証株価、翌月以降は東証株価を使用

Sysmex

## 株主メモ

- ■決算期日　3月31日
- ■定時株主総会　6月
- ■基　準　日
  - 定時株主総会　3月31日
  - 利益配当金　3月31日
  - 中間配当金　9月30日
  - その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
- ■公告掲載新聞　日本経済新聞
- ■上場証券取引所　東京証券取引所市場第1部
  大阪証券取引所市場第1部
- ■証券コード　6869
- ■1単位の株式の数　100株

■株式事務

名義書換代理人　〒100-8212東京都千代田区永田町二丁目11番1号
三菱信託銀行株式会社

同事務取扱場所　〒100-8212東京都千代田区永田町二丁目11番1号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先、電話照会先)　〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部　電話 (03) 5391-1900(代表)

同取次所　三菱信託銀行株式会社 全国各支店

**お知らせ**
1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単位未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。

## 会社概要

- ■商　　号　シスメックス株式会社
  SYSMEX CORPORATION
  ('98年10月1日東亞医用電子株式会社から商号変更)
- ■設立年月日　昭和43年2月20日
- ■資　本　金　33億8490万円
- ■従業員数　1,055名 ※嘱託およびパートタイマー207名は含んでおりません。
- ■主な事業の内容　臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
- ■主な事業所

本　　社　神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
TEL.078-265-0500(代)　FAX.078-265-0524

| | | |
|---|---|---|
| テクノセンター | 仙台支店 | 営業所 |
| 加古川工場 | 東京支店 | 札幌、盛岡、大宮、千葉、 |
| 小野工場 | 名古屋支店 | 横浜、新潟、金沢、静岡、 |
| | 大阪支店 | 京都、神戸、広島、高松、 |
| | 福岡支店 | 鹿児島 |

■主な関係会社

メディカ株式会社
トーアメディカル株式会社
シスメックス物流株式会社
株式会社アール・エー・システムズ
SYSMEX CORPORATION OF AMERICA(アメリカ)
SYSMEX REAGENTS AMERICA,INC.(アメリカ)
SYSMEX INFOSYSTEMS AMERICA,INC.(アメリカ)
SYSMEX DO BRASIL INDUSTRIA E COMERCIO LTDA.(ブラジル)
SYSMEX EUROPE GMBH(ドイツ)
SYSMEX DEUTSCHLAND GMBH(ドイツ)
SYSMEX UK LIMITED(イギリス)
SYSMEX BELGIUM S.A.(ベルギー)
SYSMEX MOLIS S.A.(ベルギー)
SYSMEX FRANCE S.A.R.L(フランス)
済南希森美康医用電子有限公司(中国)
希森美康香港有限公司 (中国)
希森美康医用電子(上海)有限公司(中国)
希森美康電脳技術(上海)有限公司(中国)
SYSMEX SINGAPORE PTE LTD.(シンガポール)
SYSMEX (MALAYSIA) SDN BHD(マレーシア)
SYSMEX TRANSASIA BIO-MEDICALS PRIVATE LTD.(インド)
SYSMEX (THAILAND) CO.,LTD.(タイ)
MED-ONE CO.,LTD.(タイ)
SYSMEX SAN TUNG CO.,LTD.(台湾)

## 役員のご紹介

取締役社長(代表取締役)…家次(いえつぐ) 恒(ひさし)
専務取締役…雪本(ゆきもと) 賢一(けんいち)
常務取締役…岡田(おかだ) 德弘(とくひろ)
常務取締役…和歌(わか) 光雄(みつお)
取締役…中嶋(なかじま) 国雄(くにお)
取締役…日置(へき) 栄一(えいいち)
取締役…中谷(なかたに) 正(ただし)
取締役…林(はやし) 正好(まさよし)
取締役…大東(おおひがし) 重則(しげのり)
取締役…山本(やまもと) 博(ひろし)
取締役…中島(なかじま) 幸男(ゆきお)
常勤監査役…天野(あまの) 好勝(よしかつ)
常勤監査役…植益(うえます) 純隆(すみたか)
監査役…石田(いしだ) 義唲(よしろう)

※データは全て平成12年9月30日現在のものです。ただし株価、出来高の推移は平成12年10月31日現在のデータです。

# Q&A 「しやく」って何？

## 正確な検査に必要な試薬の役割



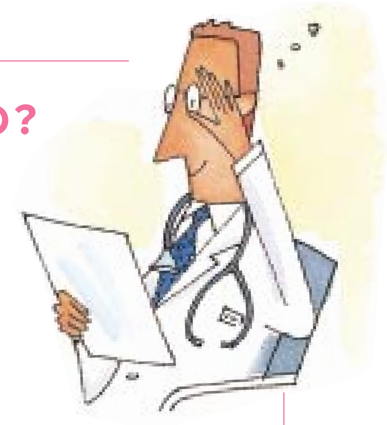
**私たちシスメックスは検査機器と同時に試薬を開発しお届けしています。血球計数検査、血液凝固検査、免疫血清検査、尿検査と、それぞれの検査で機器の性能を最大限に発揮し、「正確な結果」を得るためには試薬と機器の関係が重要です。今回は、私たちの製品の中で検査機器とともに重要な位置を占める「試薬」にスポットを当ててみました。**



### Q なぜ、検査には「試薬」が必要なの？

**A** 検査を行う場合、体内から取り出したそのままの血液や尿では測定できないため、試薬を使って検査できる状態にします。例えば、検査のために一定の倍率に薄めたり、白血球を検査する際に余分な赤血球を除去したり、成分を分類しやすくするために試薬が必要となります。

## Q どうして、試薬と機器をセットで開発するの？

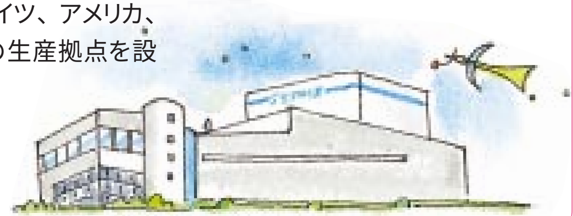


A 正確な検査結果には、検査機器の性能を十分発揮させる高品質な試薬が必要なことは先程述べました。万一、検査にトラブルが発生した場合、機器と試薬のどちらに原因があるか判断しにくいため、当社機器に使用する試薬は基本的に当社専用の試薬として自社で開発しています。機器と試薬の両方を開発、製造そして販売していることが当社の強みといえるでしょう。（血液凝固分野に関しては世界No.1のデイドベーリング社の試薬を取り扱っています。）



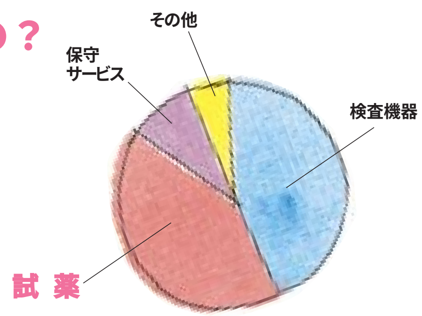
## Q シスメックスの機器と試薬はどこで生産しているの？

A 当社には日本国内に機器生産の加古川工場と試薬生産の小野工場があります。一方、海外にはドイツ、アメリカ、ブラジル、中国、インド、シンガポールに試薬の生産拠点を設立。「いのち」に携わっている当社では、万一にも、病院での検査がストップすることのないよう、消費地に近いところで生産し、迅速に製品をお届けしています。



## Q 試薬の収益性はどうなっているの？

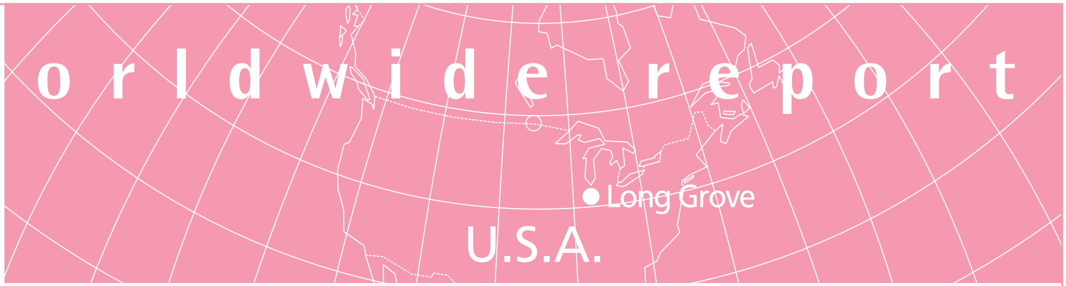
A 試薬はある種の消耗品といえます。検査機器の納入後も機器を使用する限りにおいては、試薬を継続して購入していただけることになります、機器の設置台数が増加し、市場シェアが伸びれば、試薬の売上も継続して伸びるため、安定した収益源となっています。機器と試薬の両方を開発、製造、販売するシスメックスならではの強みです。



当社の売上構成比
（平成12年3月期・連結ベース）

**シスメックスは、検体検査に必要な機器と試薬の製造・販売・サービスを提供するとともに、ソフトウェアやITを活用することにより、高度化する医療ニーズにお応えしています。**

# Worldwide report




シスメックス
# 海外事業所通信―④

アメリカ イリノイ州

## 北米・中南米における ビジネスを統括

### SYSMEX CORPORATION OF AMERICA



Mr.Don Patulo
Vice President, Operations

アメリカ・イリノイ州ロンググローブ市に位置する「SYSMEX CORPORATION OF AMERICA」。社屋のすぐ横には牧場があり、道路では野生の鹿に出会えるような自然に恵まれた環境です。ここは歴史ある町で、1800年代の面影を残すお店やレストランが多く、文化的な魅力のある名所もたくさんあります。それに加え、中西部の中心都市であるシカゴから近いという利点も兼ね備えています。

SYSMEX CORPORATION OF AMERICAでは北米・中南米におけるマーケティング活動および製品の販売・サービスサポートを主な事業内容としています。また、ヘルスケア業界のトップ企業であるロシュ社やデイドベーリング社などのビジネスパートナーを通じ、お客様に製品をお届けしています。

アメリカでは、毎年10月31日にハロウィーンというお祭りが行われます。カボチャでオバケのちょうちんを作って飾ったり、子供たちが仮装をして、お菓子をねだりながら街を練り歩きます。今年は私たちも部署ごとに仮装コンテストを行いました。

また、私たちは地域社会に貢献できるよう、各種の慈善事業に対するサポート活動を行っています。例えば、社内で余っているパソコンやソフトウェアなどを地域の各種団体に提供したり、乳ガンの研究をしている慈善団体への寄付を行ったりしています。また、今年は当社従業員の家族である、Amie Hagenさんがパラリンピックに出場することになり、全社をあげて後援しました。

医療の先端をゆくアメリカに拠点をおく企業として、今後も豊かな健康社会づくりに貢献していきます。

